

資産運用の読み物

経済・投資のあんちよこ

最終回
マイナス金利の導入は、私たちの生活にも影響があるの？

今回の話題

日銀は、2016年2月にマイナス金利政策を導入しました。これにより、大きな影響を受けたのが一般の銀行です。日銀に預けている一部のお金に対して、金利を支払わなければならなくなりました。ではこのことは、私たちの生活にも影響はあるのでしょうか？

メリットとデメリットの双方がある

- マイナス金利の導入は、一般の銀行が日銀にお金を預けておくより貸し出しや投資に回させることで、市場にお金を供給して経済を活性化させることを狙ったものです。
- このことは私たちの生活にも影響を及ぼしています。まずメリットと言えるのが、住宅ローン金利の引き下げです。従来よりも金利負担が少なくなった分、住宅購入検討者にとっては追い風と言えます。
- 一方デメリットとしては、預金金利のさらなる低下があげられます。マイナスには転じてはいないものの、定期預金も含めて金利はほぼゼロ状態です。銀行に預けているだけでは、お金はほとんど増えないのです。
- 将来に備えるためには、いまこそ投資を視野に入れた資産形成を考えてはどうでしょう。例えば投資信託なら、少額から積立投資ができるので、無理なく始めやすいかもしれません。

■個人におけるマイナス金利の影響

住宅ローンの金利引き下げ



従来より金利の負担が少なく住宅ローンを組める



住宅購入検討者にとって追い風に！

預金金利がさらに低下



預金だけでは、ほとんどお金は増えない



投資信託を少額から積立で始めるなど、投資も視野に入れた資産形成を行う必要に！

Point

マイナス金利の導入により、預金金利はさらに低下しています。投資を視野に入れた資産形成を考える絶好の機会とも言えます。